

2024年11月1日

## 組合員・ご利用者本位の業務運営に関する取組状況

### およびK P I 実績値の公表について

当組合は「私たちは人と自然とのかかわりを大切に、食を守り、地域に愛される JAグリーン近江をめざします。」を経営理念に掲げ、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を目指しています。

この理念のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組合員・ご利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するため、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することができる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

グリーン近江農業協同組合

# I.取組状況

## 1 組合員・ご利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

### (1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、組合員・ご利用者様の多様なニーズにお応えできるものを選定します。当組合では、組合員・ご利用者様が選定しやすいよう商品数を一定に絞った「JAバンクセレクトファンド」を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	4 (前年度末：3)
株式型	4 (前年度末：4)	5 (前年度末：5)
REIT型	2 (前年度末：2)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

<商品選定の考え方>

「JAバンクセレクトファンド」の主な選定基準は以下のとおりです。

1. 将来の備えに向けて、「長期投資」を前提とした投資信託であること
2. 過去の運用実績が相対的に良好であること
3. 過去の運用成績の再現性が認められること
4. 手数料が良心的な水準であること
5. これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向け、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

# I.取組状況

## 1 組合員・ご利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

【原則2本文および(注)、原則6本文および(注)】

### (2) 共済仕組み・サービス

- ・住宅価格の高騰により連帯債務の住宅ローン利用者が増加したことを受けて、団体信用生命共済において従来よりも手厚い保障が可能となる連生タイプの取扱を新たに開始しております。
- ・市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。

令和5年度実績

共済種類	契約件数(件)
生命総合共済	2,849
建物更生共済	1,124
自動車共済	24,064

# I.取組状況

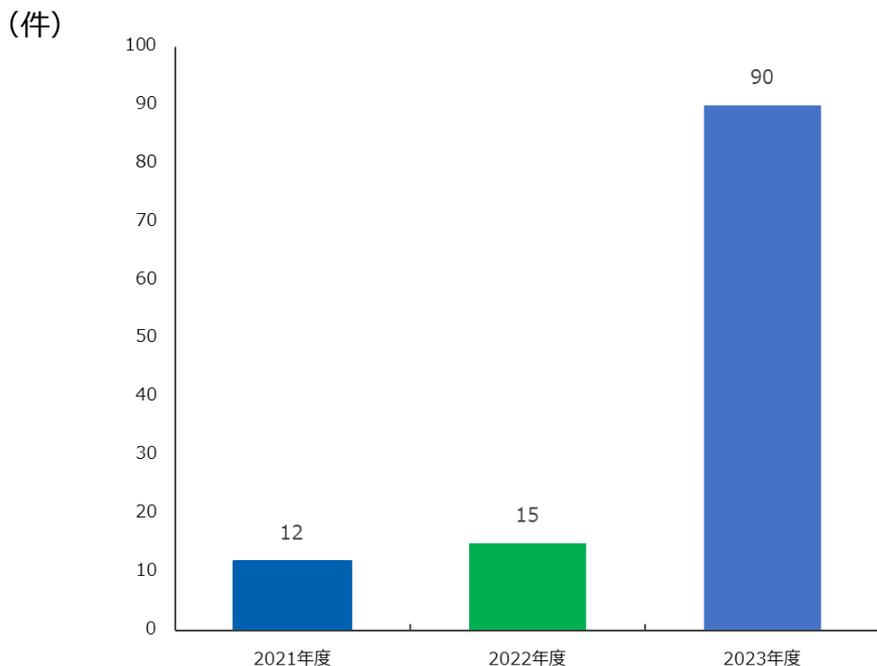
## 2 組合員・ご利用者本位の提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

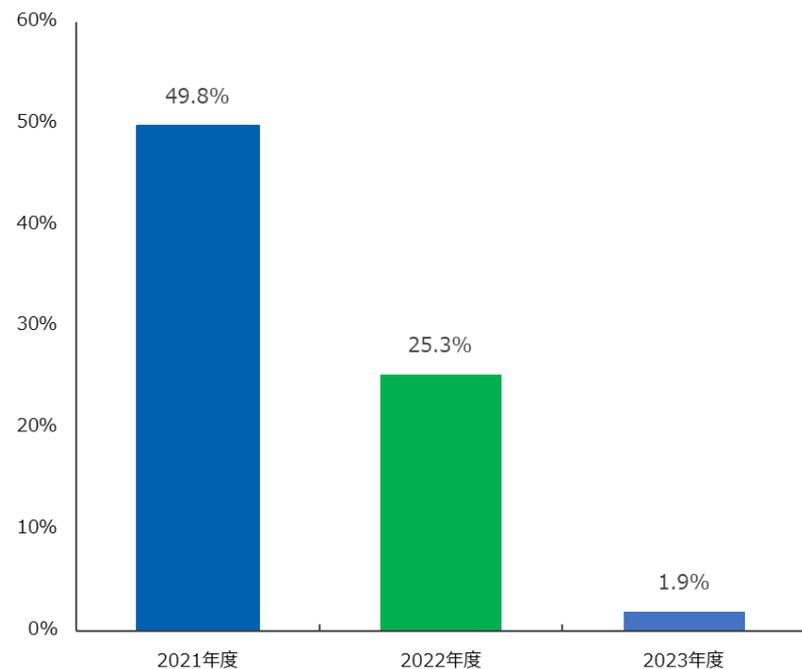
### (1) 信用の事業活動

- 安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・ご利用者様の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、ふさわしい商品のご提案を行います。
- 分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加し、「毎月分配型ファンド」を選択されるお客様の比率が低下いたしました。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



# I. 取組状況

## 2 組合員・ご利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

### （1）信用の事業活動

- 組合員・ご利用者様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について、J Aバンクセレクトファンドマップ、J Aバンクファンドマップ等を活用のうえ、分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供しました。
- また、組合員・ご利用者様にご負担いただく手数料について、組合員・ご利用者様の投資判断に資するよう、丁寧かつ分かりやすい説明に努めました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

**JAバンクファンドマップ**

安定型   中間型(安定～中間)   中間型(中間～積極)   積極型

バランス	シンプル			
	プロフェッショナル			
債券	シンプル			
	プロフェッショナル			
債券	シンプル			
	プロフェッショナル			
サテライト	シンプル			
	プロフェッショナル			
株式	シンプル			
	プロフェッショナル			
ポर्टフォリオ	シンプル			
	プロフェッショナル			

左からリスクの小さい順番に並んでいるんだね！

自分のスタイルに合ったファンドが分かるね！

コアラくん   キンパちゃん   キンパちゃん

④ コア・サテライト戦略について

保有する資産を守りながら(コア)資産を拡大  
取組む(サテライト)資産に別けて運用する方法

＜イメージ＞

コア  
＜定額貯蓄を目的する  
バランス型ファンドと  
安定型の債券ファンドなど＞

株式   P/EIT

サテライト  
＜取組コースに応じる単一資産ファンドなど＞

⑤ 投資対象のリスクとリターンとの関係イメージ

右にあるタイプの投資対象ほど高い収益が期待できる一方で、  
価格が変動する幅も大きくなります。

リスクとリターンは比例関係

国内債券  
海外債券  
国内株式  
海外株式

⑥ リスクと投資カテゴリイメージ

	安定型	中間型	積極型	
リスク	小	←	→	大
商品イメージ	国内債券 海外債券 (為替ヘッジあり)	海外債券 (為替ヘッジなし)	国内株式 海外株式 海外P/EIT	
	バランス			

⑦ 各ファンドのカテゴリは、投資の参考となる情報を提供するごとの区分に、  
リスクとリターンを目安として、(期待する収益)の順に並べています。投資の購入  
判断は必ずしもこれによるものではありません。

⑧ リスクとリターンは、期待する収益、期待するリスクの両方を同時に判断して、  
自分のスタイルに合った商品を選ぶことが大切です。

⑨ 各ファンドのカテゴリは、商品のリスク特性に基づいて、一般的なイメージでの  
分類により大きく分けています。実際の運用においては、各商品のリスク特性を  
よくご確認ください。

※重要情報シート(資料目録番号)のご請求、お申し込みは

※重要情報シートは、必ずお読みください。また、お読みになった上で、お申し込みください。また、お読みになった上で、お申し込みください。また、お読みになった上で、お申し込みください。

# I. 取組状況

## 2 組合員・ご利用者本位の提案と情報提供③ 【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

### （2） 共済の事業活動

・ニーズに合致したと思われる共済仕組み・サービスについては、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。

・情報提供にあたっては、各種公的保険制度の情報を提供のうえ、タブレット端末機「Lablet's（ラブレツ）」を活用しわかりやすく説明しております。



# I.取組状況

## 2 組合員・ご利用者本位の提案と情報提供③ 【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

### （2）共済の事業活動

- ・タブレット端末機「Lablet's（ラブレッツ）」による「意向確認画面」または「意向確認書」を通じてご提案した共済仕組み・サービスが組合員・ご利用者の皆さま一人ひとりのご意向に沿ったものであるか確認しております。
- ・高齢者対応については、ご家族の方に同席いただく対応を基本とするなど、丁寧な対応を行っております。

令和5年度実績

高齢者対応における親族同席率（％）

72.3

# I.取組状況

## 2 組合員・ご利用者本位の提案と情報提供③ 【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

### （2）共済の事業活動

・ご加入後も、3Q活動を通じて、適切な保障が提供できていることを確認するなど、組合員・ご利用者の皆さまに寄り添った取組みを実施しております。

令和5年度実績

3Q活動実施数(人)

16,625

・保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・ご利用者の皆さまに手数料等をご負担いただいております。

## 3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- 組合員・ご利用者様への商品選定や情報提供にあたり、組合員・ご利用者様の利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理しております。

# I.取組状況

## 4 組合員・ご利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5) 原則7本文および(注)】

・組合員・ご利用者の皆さまからいただいた「声（お問い合わせ・ご相談、ご要望、苦情など）を誠実に受け止め、業務改善に取り組んでおります。

令和6年3月末実績

総合満足度(%)

95.6

※ J A 共済全般の総合満足度「とても満足」「満足」「やや満足」の合計

・高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、組合員・ご利用者様本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。

・組合員・ご利用者の皆さまの信頼を獲得し、満足していただける金融商品・共済仕組み・サービスを提供できるよう、職員の継続的・定期的な研修を実施しております。

・また当組合ではGreen Wayを策定し、共通価値観と行動原則を明文化することで役職員一人ひとりの「思考」「解釈」「判断」「行動」「成果」等どの場面においても基準となる価値観を共有しています。

< J A グリーン近江 Green Way >

【共通価値観】【行動原則】

協同型思考・・・地域と共に協同の理念を育み、スピード感をもって意欲的に思考します。

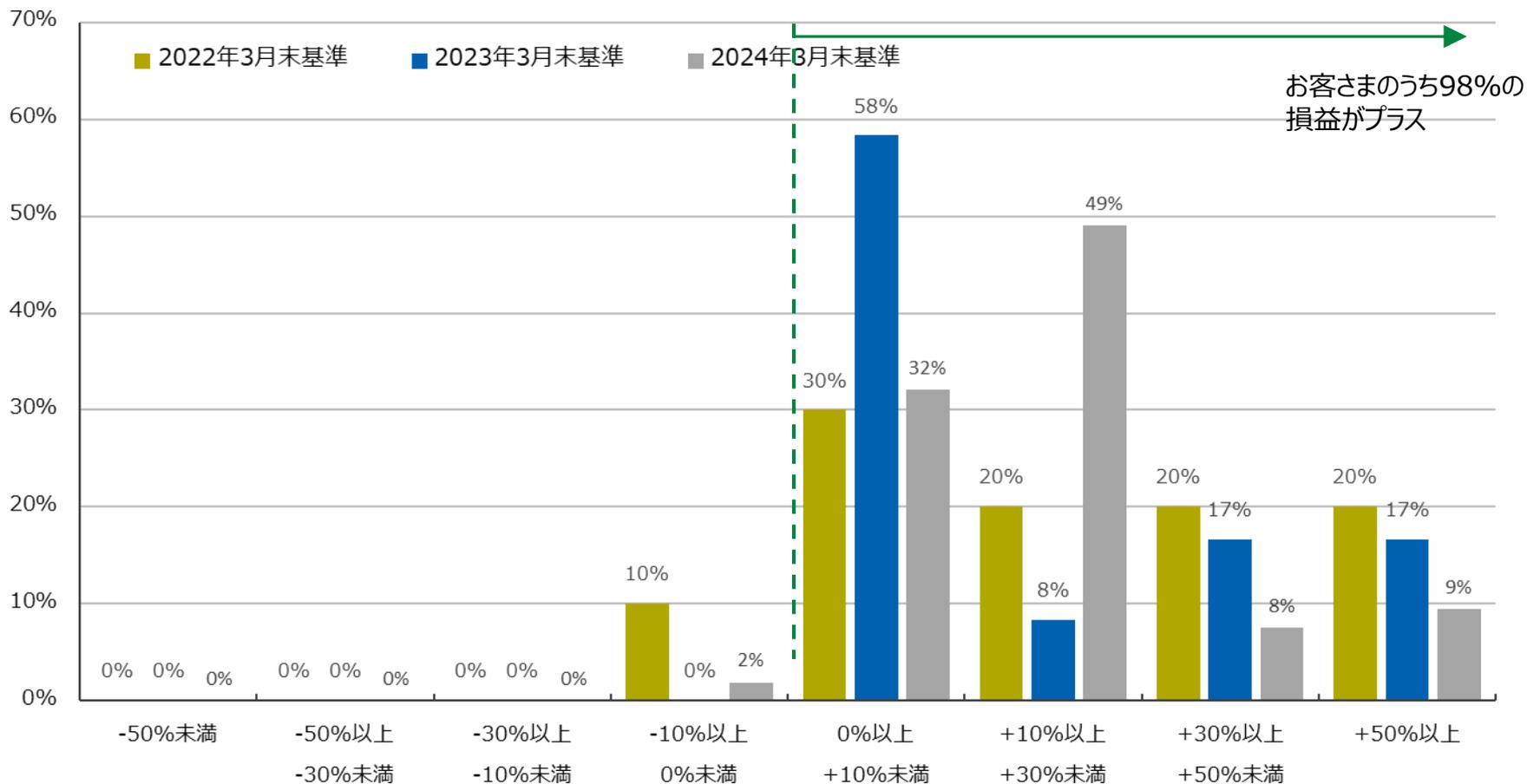
道徳的考動・・・道徳心をもって仕事にあたり、立派な社会人として考動します。

感動的想造・・・良心と真心をもって、感動と感謝を想造します。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・ご利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の98%のお客さまの損益がプラスとなりました。

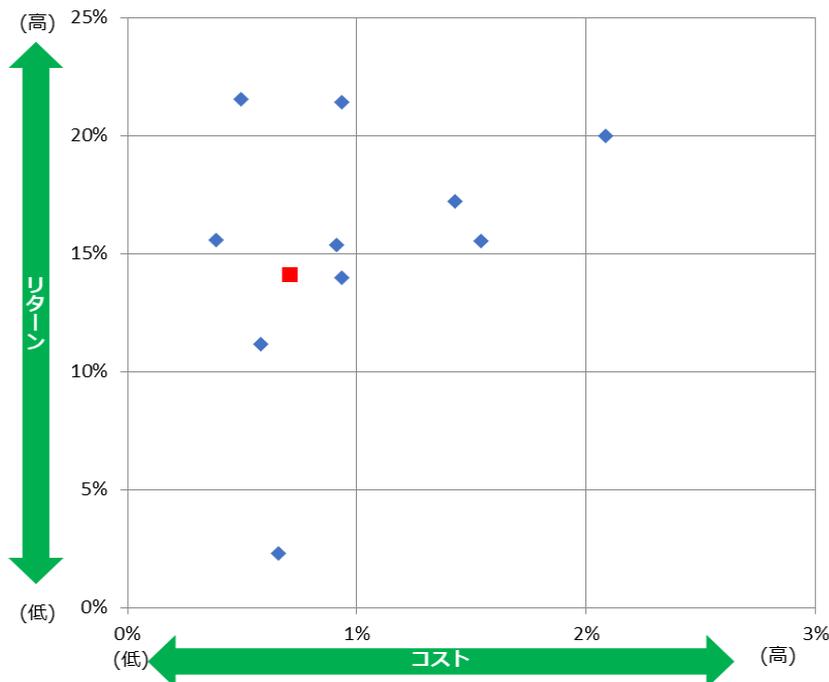


## Ⅱ.比較可能な共通K P I

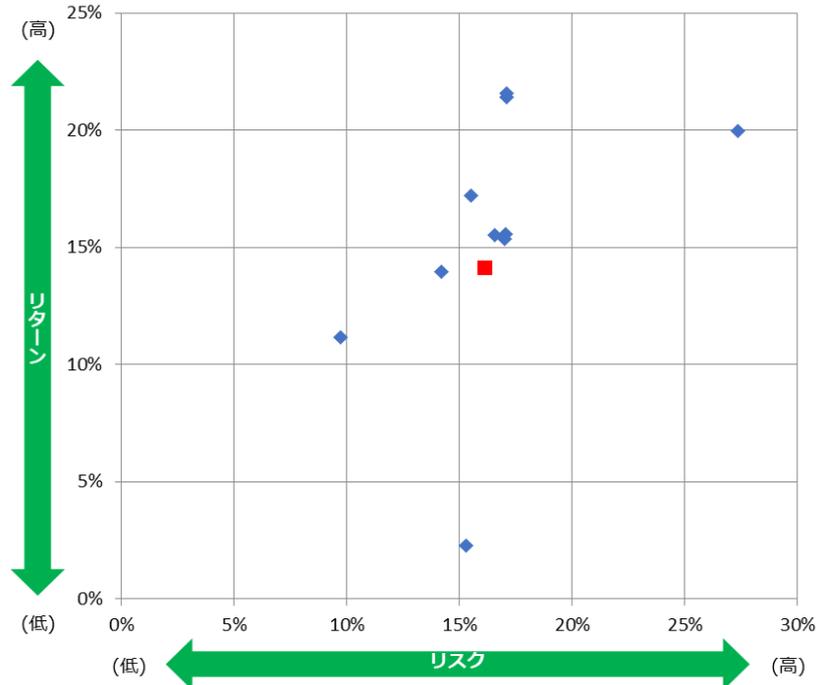
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・ご利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.71%、平均リスク16.14%に対して、平均リターンは14.11%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



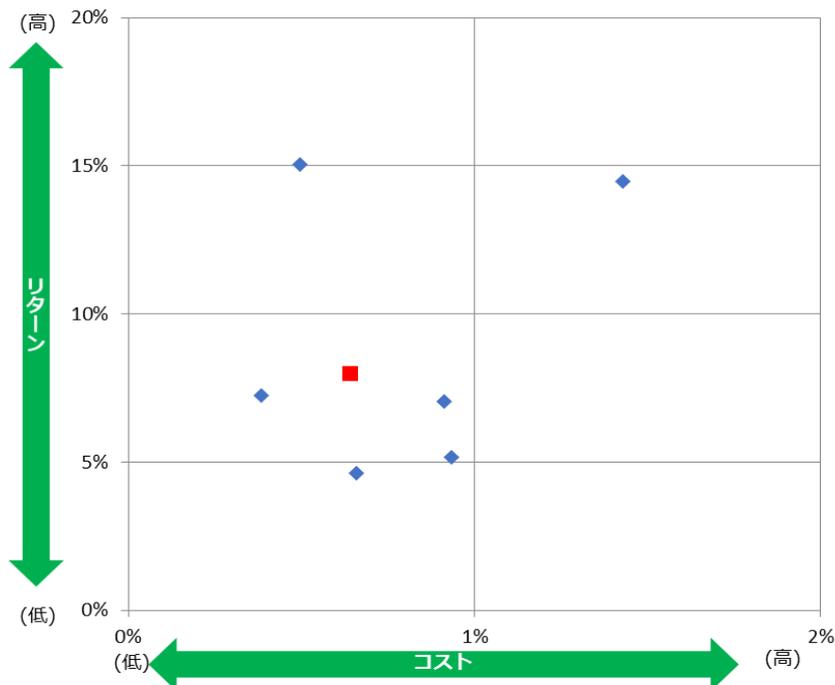
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

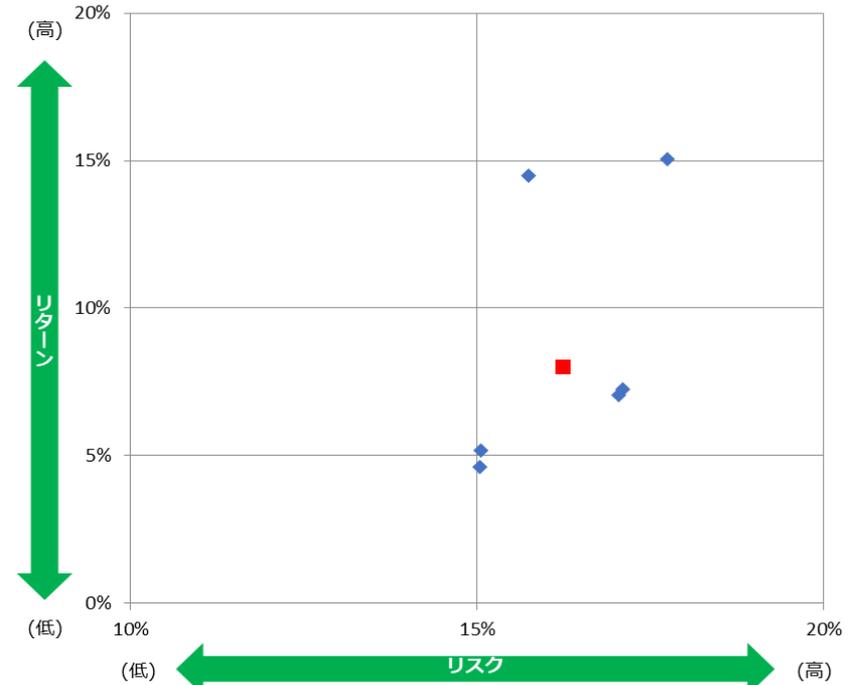
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.64%、平均リスク16.23%に対して、平均リターンは8.00%となりました。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>

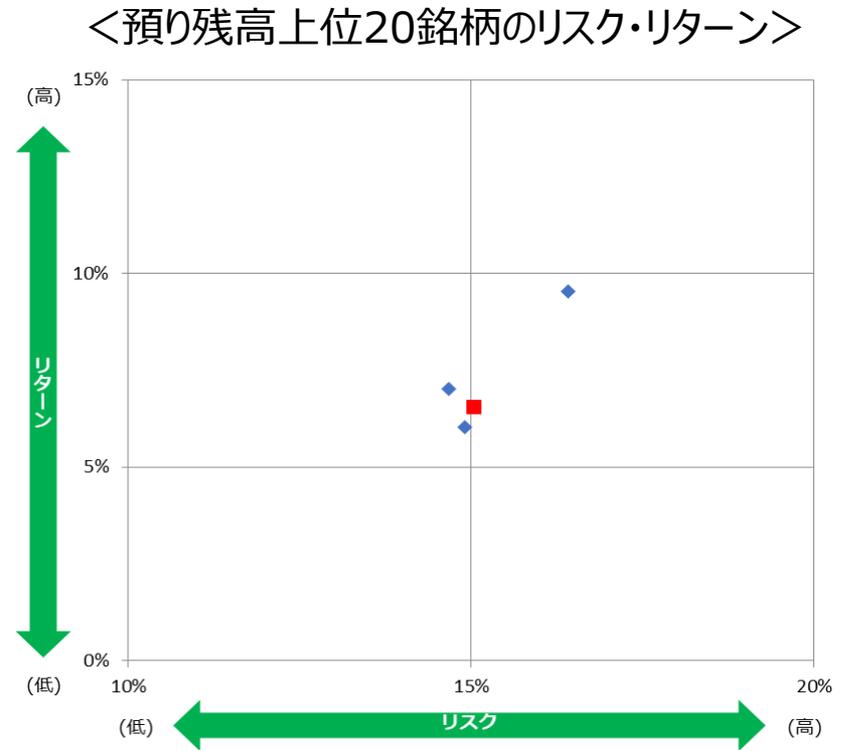
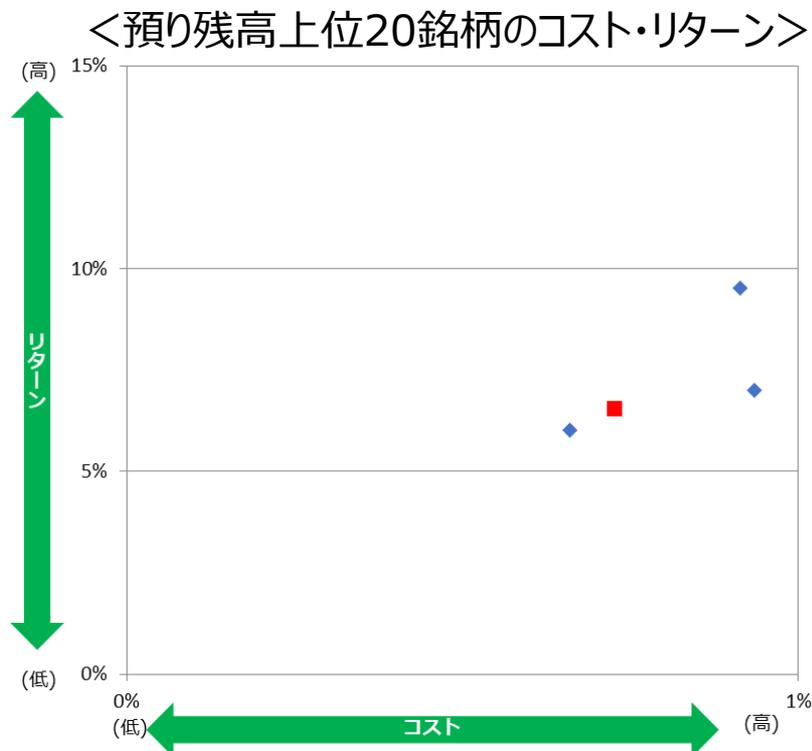


※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.73%、平均リスク15.04%に対して、平均リターンは6.55%でした。



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
2	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.28%	15.30%	0.66%
3	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
5	JATOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	13.95%	14.20%	0.94%
6	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
7	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
8	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
9	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	19.98%	27.37%	2.08%
10	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		14.11%	16.14%	0.71%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は10本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	J-REITインデックス (毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	4.62%	15.04%	0.66%
2	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.05%	17.74%	0.50%
3	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	7.26%	17.10%	0.39%
4	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	7.05%	17.04%	0.91%
5	JA TOPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	5.17%	15.06%	0.94%
6	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	14.48%	15.74%	1.43%
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		8.00%	16.23%	0.64%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は6本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	J-REITインデックス (毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	6.02%	14.90%	0.66%
2	J A T O P I Xオープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	7.00%	14.67%	0.94%
3	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	9.53%	16.42%	0.91%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.55%	15.04%	0.73%

※ 2022年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は3本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。